

## 調査研究部

### 1 学校の管理運営に関わる調査及び研究に関すること

#### (1) 第38回北海道公立学校事務長研究協議会の開催

※ 「第38回北海道公立学校事務長研究協議会について（中止）（令和3年5月14付け）」により中止し研究発表等は、令和5年度へスライドし実施。

#### (2) 道立学校事務改善に関する必要な調査研究

事務改善による学校事務の効率化・省力化の推進及び課題の改善策について、調査研究を行う。

○「学校情報の管理について」（全国発表（令和4年8月開催予定）のため継続研究）

学校事務の継続性と効率的な事務処理の観点から、事務長異動時に引継ぎが必要な事項や、財産等学校の情報を一元的に集約する方法等について研究成果を発表用に整理中です。

現在は、Zoomでの開催も踏まえたライブ用原稿作成、集録用原稿作成、研究協議の発表を動画作成しYouTubeでの配信も求められていることから、それらに対応する準備を行っています。（9/13、11/17、2/24、3/14 全てZoom開催）

#### (3) 人材育成に係る調査研究

事務長の資質向上及び昇任候補者、初任者等の効果的な人材育成等に係る調査研究を行う。

○3年間実施した「事務長の資質向上に関するアンケート」の集約結果も踏まえ、次のアの内容を中心に研究を実施する。

【研究テーマ】引継ぎにもつなげる文書管理、保存方法

「道立学校文書管理規程に定められている文書主任たる事務長は、その役割を踏まえた上で、ICT等（スクールネットのキャビネットによる文書配布等）の活用も視野に入れた効果的、効率的な文書の整理、保存方法及びそれらに係る部下職員への指導方法等について研究を行う。」としております。

今年度は、コロナの影響により研究時間をとることができず、また、全国大会の開催方法等の変更等により研究が進みませんでした。

### 2 会員の資質向上に関すること

#### (1) 調査研究推進委員研究協議会の開催

調査研究推進委員と本部調査研究部との連携強化及び調査研究活動の活性化を図るため、研究協議会を開催した。

① 期 日：令和3年11月30日（金）

② 開催方法：Web会議システム「Zoom」

【研究協議会の内容】

① 研究協議Ⅰ

「本部調査研究部活動報告としての全国大会プレ発表」～学校情報の管理について～

② 研究協議Ⅱ前半

「本部設定テーマによる全体協議」～学校職員に係る人材育成について～

③ 研究協議Ⅱ後半

「各支部間の情報交換」

#### (2) 新任事務長等への研修支援

「支部が行う新任事務長等を対象とした研修等の取組に対し、講師斡旋や旅費の措置等の支援を行う。」としておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策等から直接の実施が難

しい状況です。

### 3 調査研究活動の推進に関すること

#### (1) 支部研究を活用・発信するための研究

調査研究推進委員研究協議会で発表された各支部の研究活動等を、翌年度の同研究協議会における協議題への採用や全道・全国研究協議会での発表等につなげるなど、各支部の取組を活用・発信する方策について研究を行う（継続）。

### 4 その他

上記いずれの研究活動についても、現在の新型コロナウイルス感染症対策により本部研究活動のみならず、各支部の研究活動についても難しい状況が生じている。今年度は、調査研究部研究協議会については、現在まで全て Zoom 開催を行っております。また、調査研究推進委員研究協議会についても今年度初めて Zoom 開催で行いました。Zoom 開催での難しさも感じておりますが、これからはそれらでの効果的な開催方法、運営方法も検討して参りたい。